

Local Area News

食品自主衛生管理認証 を取得

東毛福祉事業(協)

東毛福祉事業協同組合(竹澤博理事長、組合員203人)では、3月1日付けにて、群馬県が推進する「群馬県食品自主衛生管理認証制度」の認証を得るに至った。

当組合は、太田市及び東毛地区において、充実した一貫システムラインの中で産業給食、委託給食、仕出し料理等を組合員に供給している。常に衛生面に配慮しており、全国屈指の優良給食センターになっている。

当組合では、ここ数年、ISO



9001:2000認証取得や群馬県食品適正表示推進事業所登録等の取り組みを行ってきた。そこで、更なる安全性の高い食品の提供を実現するために、一昨年度において本会事業を活用し、同制度の認証準備を進めてきた。

「群馬県食品自主衛生管理認証制度」とは、食品の安全性確保について第一義的責任を有する食品事業者の、HACCPの考え方に基づく自主的な衛生管理を推進し、衛生水準の向上を図ることにより食品衛生上の危害の発生を防止することを目的に、食品の安全性確保のための新しい制度である。

同制度の認証を果たしたことで、食の安心安全をより広くPRできるだけに、今後の受注拡大に弾みを付けたいとしている。

発酵ナイトin群馬を開催

群馬県醤油味噌工業(協)

群馬県醤油味噌工業協同組合(湯浅太郎理事長、組合員13人)では、3月22日、高崎市役所内のレストラン・アートマルシェにおいて「発酵ナイトin群馬」を開催した。

「上州の醤油・味噌を語る夕べ」と題したこの催しは、県内醸造の醤油味噌商品の魅力を広く知ってもらうとともに、醸造元の活動をPRすることを目的として、組合



の若手経営者が中心となって初めて企画されたもの。

当日は、作家でフードジャーナリストの向笠千恵子氏が「暮らしの中の発酵食文化」と題して講演。全国の地産地消の醤油味噌とともに群馬の発酵食文化を紹介し、日本の調味料は発酵の食遺産であると解説。

この後、地元の醤油味噌を使ったサラダや肉料理・魚料理、醤油フォンデュ等が供される中、前橋市内で醤油専門店を営む高橋万太郎氏による「利き醤油&味噌セミナー」が行われ、深い味わいと楽しいトークが堪能された。



LAW

中古自動車販売士制度 普及に取り組む 群馬県中古自動車販売(商工)

JU (社団法人日本中古自動車販売協会連合会) が主体となつて「中古自動車販売士制度」が創設され、販売士の研修・試験が全国で実施されている。同制度はお客様の中古自動車に対する不安や疑問を取り除いて安心して購入頂けるよう、きちんとした査定を行い、適正な価格で販売する店づくりを行うため、販売のプロフェッショナルを育成・認定するもので、販売士を「お客様の立場で最適な一台をお届けできる」中古自動車のソムリエと位置付けている。



目印ののぼり旗

3月現在、全国で約5500人、本県では150人程の販売士が誕生している。販売士と在籍する販売店は、JUのHPに登録され、誰でも見る事が可能。また、販売店には販売士認定証の掲示や目印のぼり旗が飾られている。今春から販売士制度の対外的PRに取り組み、テレビ・ラジオ・新聞への広告掲載が行われるほか、販売士を題材にした漫画作品も制作され雑誌へ掲載される予定。

当組合も、業界の信頼向上を図るため、販売士認定取得の推進や制度普及の取り組みへ積極的に参画していくこととしている。

オール群馬の地酒 「舞風」発表会 群馬県酒造(協)

群馬県酒造協同組合 (柳澤光雄)

理事長、組合員31人)は、4月17日、県が開発した新品種の酒造好適米「舞風」をはじめ、酵母、水、蔵元など全てを群馬県産で揃えた地酒の発表会を県庁で開催した。これらの地酒には、昨年一般公募で募集し、応募総数409作品の中から選ばれた統一シンボルマークが各社独自の銘柄ラベルに併せて瓶に貼られる。このシンボルマークは、風が舞い稲穂が舞い、人が舞うことをイメージしながら、群馬の頭文字「G」をかたどっており、原料へのこだわりを強調するため文字を融合し、オール群馬を示す「100%」がデザインされている。



オール群馬の地酒

発表会では、シンボルマークを图案した前橋市のデザイン会社社長、宮川ヒロミさんに対して、柳澤理事長より表彰状並びに賞金・副賞が贈呈された。また、大澤正明知事も駆け付け、「群馬生まれの群馬育ちを新しい群馬のブランドとして全国に発信できると思う」と祝辞を述べた。会場では、県内の蔵元15社から蔵出しされたオール群馬の地酒の試飲会も行われ、会場に集まった参加者はできたての地酒を堪能した。4月18日から県内外の小売店に出荷される。



受賞者に目録を手渡す柳澤理事長